

## 2023 年度『第 24 回サンライズ杯争奪少年野球大会』大会要項

- 1 主 催 朝陽地区住民自治協議会教育・文化部会育成会連絡協議会（会長：相沢志郎）  
大会長 西脇 かおる（長野市議会議員）  
主管 朝陽育成会少年野球 サンライズ杯実行委員会  
委員 長 木売英雄（朝陽育成会少年野球 コーチ）  
副委員 長 植木 潤（同 顧問）  
実行委員 羽生田 正浩（朝陽育成会少年野球 監督）  
大津 雅冬（同 保護者会長）  
小林 総一郎・荒井 正幸（同 保護者会副会長）  
大会事務局 小林 千春・伊藤 英里・小林 康・竹花 雄司  
小林 紀一・松川 遥香
- 2 協 賛 ホームランスタジアムNAGANO ダイワマルエス株式会社  
タヤマスポーツ スーパースポーツXEBIO長野南高田店
- 3 開催日 令和5年7月16日（日）・17日（月）  
(予備日) 7月22日（土）・23日（日）
- 4 会 場 7月16日：犀川第一運動場 A, B, C, D  
7月17日：若穂中央公園運動場  
(予備日の会場は、別途、電子メールでご連絡します)
- 5 参加チーム 20チーム
- 6 参加資格 4・5・6年生を中心としたチーム編成（最大20名）  
ただし、3年生以下を含めてチーム編成することは妨げない。
- 7 参加費 1チーム 4,000円（大会当日受付）
- 8 日 程 7:00 会場準備（グラウンド当番チーム）  
7:30 受付  
7:45 監督打合せ  
(両日) 8:30 試合開始 ※以降はトーナメント表を参照ください
- 9 開・閉会式  
(1) 本大会の開会式は執り行いませんので、大会本部（D面）へ受付にお越し下さい。  
(2) 決勝戦終了後閉会式を行います。優勝チーム、準優勝チーム、第3位の2チームは、プラカードを持ってご参加下さい。
- 10 表 彰  
<本 戦> 優 勝 賞状、優勝旗、カップ、メダル  
準優勝 賞状、カップ、メダル  
3 位 賞状、楯、メダル  
最高殊勲選手賞（1名）・最優秀投手賞（1名）・優秀選手賞（1名）  
ホームランボールを贈呈します（ランニングホームランを含む）  
<参加賞> 『ホームランスタジアムNAGANO』バッティングセンター無料券

## 11 大会運営に関する連絡事項

- ① 本大会は組み合わせ抽選は実施しません。組み合わせは責任抽選とし、電子メールにて事務局からご連絡します。
- ② 雨天やグラウンド状況により試合日程や開始時刻が変更になる場合には、当日の朝6時頃に電子メールにて事務局からご連絡します。
- ③ 車両は他の利用者の迷惑にならないよう留意して駐車して下さい。
- ④ 当日の事故や怪我等は各チームのスポーツ保険等で対応してください。主催者側では一切の責任を負えないことをご了承ください。
- ⑤ 大会運営に関して事故やトラブルが生じた場合、大会本部にご連絡下さい。

## 12 競技方法

### (1) 競技規則に関する事項

本大会は、2023年公認野球規則及び以下に示す本大会ローカルルールを適用する。

- ① トーナメント方式とする（別紙組み合わせ参照）
- ② 試合は6回戦または1時間30分とし、1時間20分を越えて次のイニングに入らない。ただし決勝戦のみ1時間30分を越えて次のイニングに入らないとする。
- ③ 同点の場合は特別延長戦として、無死一塁・二塁で打順を継続とし、最大2イニングまで行い勝敗が決しない場合は9人による抽選で勝敗を決する。なお通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許されるが、抽選時のみの交代はできないこととする。
- ④ 5回以降7点差の場合はコールドゲームを適用する。ただし決勝戦は適用しない。
- ⑤ 投手の投球回数制限については、1日7イニングまでとする（肩・肘の障害防止を考慮しての措置）。ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げる事ができる。投球回数は、1球でも投じたイニングは1イニングと数えることとし、グラウンド当番が責任を持ってカウントし、次チームへ伝えることとする。
- ⑥ 降雨等で試合継続が不可能な場合は、3回を終了すれば試合成立とする。試合継続不可能の判断は、審判が両チームの監督と合議して決定する。3回を終了していないときは、対応を本部に一任する。
- ⑦ ホームランラインは70mとする。（ホームから70m地点を決め、ピッチャープレートを基点にラインを描く）
- ⑧ 投本間16m、塁間23mとする。なお、投手が4年生以下の場合は14mからの投球を可とする。
- ⑨ 監督は試合中の疑義申し立てまたは選手への指示の場合のみグラウンド内に入ることができる。ただしファールラインまでとする。
- ⑩ 試合中に雷が鳴った場合は、一旦試合を中断する。試合再開については、審判が両チームの監督と合議して決定する。
- ⑪ 本大会に於いて、打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けた際には、打者或いは監督の意思・状態に関わらず臨時代走の処置を行うものとする。臨時代走者は、投手を除いた選手のうち、打撃を完了した直後のものとする。
- ⑫ 守備の時間が長い場合（概ね20分または審判が必要だと判断した場合）には健康維持を考慮し、給水タイムを設けることとする。その間、試合時間はとめることとする。

### (2) 競技運用に関する申し合わせ

- ① 各チームは当日7時半から8時の間に本部にて受付を済ませ大会参加費を納めること。なお、天候や大会の進行状況によっては、試合開始が早まる場合があるので留意のこと。
- ② ベンチ入りは監督、選手の他代表者2名（スコアラーは除く）までとする。

- ③ ベンチは組み合わせ番号の若いチームが1塁側とする。
- ④ グラウンド整備は試合終了後速やかに試合実施両チームで行うこと。
- ⑤ 次試合の主将は、前試合の2回終了時にメンバー表3枚（自チーム用、対戦チーム用、大会本部用）を持参の上バックネット裏に集合し、各グラウンド当番の立会いのもと先攻後攻を決めること。第一試合のチームは試合開始30分前に集合すること。  
なお、前試合が予定時間よりも早く終了した場合、次試合の両チーム監督と合議して、次の試合開始を早めることがある。
- ⑥ 審判の担当はトーナメント表を参照。主審・塁審の配置は当日当事者同士で話し合うものとする。ボールボーイ（大人可）は、試合をするチームから出すものとする。なお、事情によりチームが棄権する場合にも、審判は責任をもって務めるものとする。  
大会2日目のグラウンド当番と球審は大会本部で担当する。  
決勝戦の審判は全て本部で担当する。
- ⑦ 審判は担当する試合開始時間の15分前には各試合会場のバックネット裏に集合するものとする。
- ⑧ 審判員の給水は各自で行うものとする（各チームからのお茶出しは行わない）。
- ⑨ ファールボールは打球方向のチームが取りに行くこと。
- ⑩ グラウンド当番となったチームは、ベース、ライン引き、巻尺等、ピッチャープレート、トンボ、バケツ・雑巾（ボール磨き用）を用意すること。ただし、試合球及び石灰、得点用紙は大会本部で用意する。
- ⑪ ベンチ及び応援席からの選手又は審判に対する野次等は厳に慎むこと。
- ⑫ アップ専用グラウンドの用意がない場合、試合中の外野の外側でのアップを認めるが、次の試合のチームを優先することとする。また、ノック等は構わないが、フリーバッティングは禁止するものとし、試合の進行に支障が出ないように配慮すること。
- ⑬ トーナメント表は大会本部に設置するものとする。全試合会場には設置されないのでご留意のこと。

問い合わせ先 大会本部事務局（小林：090-5519-7324）